



現地校も終わり、いよいよ楽しい夏休み!

補習授業校では、今日でひとまず授業を終わり夏休みに入ります。すでに先月下旬には現地校では卒業式、修了式があって、一足早く長期の休みに入っているところです。ようやく子どもたちが楽しみにしていた夏休みが始まります。明日から8月20日まで41日間あります。家族で過ごす貴重な時間だと思います。思

い出に残る楽しい夏休みにしていただきたいと思います。ただし、宿題も出ていることですし、毎日計画的に学習を進めることも大切です。家族一緒に意識して日本語に触れる機会を多く持っていただきたいと思います。

よい夏休みをお過ごしください!

3日、それぞれの地区校で七夕祭りが行われました。幼児部ではこれに併せてヨーヨー釣りやゲームをして日本の夏祭りの雰囲気を楽しんでいました。LI校では練習してきた盆踊りを踊りました。



WTA 校七夕飾りの前で



LI 校幼児部、輪になって盆踊り

「補習授業校を支える人々」その2

6 / 30・7 / 1

第8回北米東部地区補習授業校 現地採用講師研修会

在ニューヨーク日本国総領事館19階会議室で開催されました。本来は派遣教員のいない小規模の補習授業校に勤務されている現地採用講師のための研修会ですが、当地を会場に開催されるとあって、是非にと声が掛かって本校からも6名の先生方が参加しました。継承語としての日本語指導に積極的に取り組んでいる学校の存在を知りました。どんな形かは別として、今後ニューヨーク地区でもいずれ必要になるものと感じました。

7 / 1・7 / 2

第8回北米東部地区補習授業校 連絡協議会

講師研修会に引き続き、連絡協議会があり、校長が参加しました。それぞれの補習校の様子やその進んだ取り組みを知ることができました。大いに参考になりました。



LI 校オーディトリウムでの返却本の整理の様子

朝、どちらの学校でも保護者会の図書委員の方やボランティアの皆さんが忙しく働いています。子どもたちも登校すると、すぐに鞆から借りていった本を取り出し、返却しています。本の管理はパソコンを使ってバーコードで管理されています。便利になったとは言え、そこに至る準備は大変そうです。新しい本を登録する作業が必要だからです。こうした皆さんのお力があって、子どもたちが本に触れる機会が保障されているのだ、と知りました。豊富な日本語の本に触れられるのも補習校の大きな魅力になっていると感じました。



WTA 校返却受付の様子です